



津山工業高等専門学校校報

第 1 1 0 号 (平成 1 7 年 8 月 1 日 ~ 平成 1 7 年 1 1 月 3 0 日)

目 次

校内諸規則

津山工業高等専門学校学則の一部を改正する学則 (学則第 1 号)	2
津山工業高等専門学校全学共同利用スペースに関する規程の一部を改正する規程 (規程第 9 号)	5
津山工業高等専門学校入学者選抜実施細則の一部を改正する規則 (規則第 4 号)	6

人事異動	6
主要日誌	7
諸 報	9
教職員のレクリエーション行事について	9
永年勤続者表彰	10
アメリカ合衆国への海外研修	10
学位取得	10
知的財産に関する講習会 (中国地区高専)	10
科学研究費補助金説明会	10
受託研究	10
共同研究	11
寄附金	11
オープンキャンパス 2 0 0 5	12
学生募集 (4 年次編入学試験)	12
第 2 回 F D 研修会	13
第 3 回 F D 研修会	13
保護者懇談会・全体説明会・学校説明会	13
第 4 0 回全国高等専門学校体育大会の成績について	13
1・2・3 年生対象の交通安全講習会	14
悪質商法被害防止講座	14
全国高等専門学校第 1 6 回プログラミングコンテスト	14
アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト 2 0 0 5 中国地区大会	14
第 4 1 回中国地区高等専門学校体育大会 (冬季大会・ラグビー)	14
性教育 (エイズ) 講演会	15
第 2 1 回中国地区高等専門学校英語弁論大会	15
留学生実地見学旅行	15
寮生焼肉大会	15
北辰寮防火避難訓練	15
寮生保護者懇談会及び北辰寮後援会役員会	15
留学生と寮生の語る会	15
交換寮生 (一関・舞鶴・阿南及び有明高専)	16

校内諸規則

津山工業高等専門学校学則第 1 号

津山工業高等専門学校学則の一部を改正する学則を次のように定める。

平成 17 年 9 月 27 日

津山工業高等専門学校長 阿部 武治

津山工業高等専門学校学則の一部を改正する学則

津山工業高等専門学校学則（昭和 38 年学則第 1 号）の一部を次のように改正する。

第 13 条中第 3 項を削り，第 4 項中「（1 単位時間は，標準 50 分とする。）」を「（1 単位時間は，標準 50 分とする。第 7 項において同じ。）」に改め，同項を第 3 項とする。

第 13 条第 5 項中「前項」を「第 3 項及び第 4 項」に改め，同項を第 6 項とし，同項の前に次の 2 項を加える。

4 前項の規定にかかわらず，本校が定める授業科目については，1 単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし，授業の方法に応じ，当該授業による教育効果，授業時間外に必要な学修等を考慮して，次の基準により単位数を計算することができる。

（1）講義及び演習については，15 時間から 30 時間までの範囲の時間の授業をもって 1 単位とする。

（2）実験，実習及び実技については，30 時間から 45 時間までの範囲の時間の授業をもって 1 単位とする。

5 前項の規定により計算することのできる授業科目の単位数の合計数は，60 単位を超えないものとする。

第 13 条に次の 1 項を加える。

7 特別活動は，第 1 学年から第 3 学年までの各学年 30 単位時間計 90 単位時間以上実施する。

別表第 1（第 13 条関係）一般科目学年別授業科目表（各学科共通）の表中

		工業倫理学	2					2	生命倫理学・環境倫理学を含む	を
--	--	-------	---	--	--	--	--	---	----------------	---

		工業倫理学	4					4	生命倫理学・環境倫理学を含む	に，
--	--	-------	---	--	--	--	--	---	----------------	----

		開設単位数計	110	25	23	13	26	23		を
		履修単位数計	78	25	23	13	10	7		」

		開設単位数計	112	25	23	13	26	25		に，
		履修単位数計	80	25	23	13	10	9		」

「 印は授業時間外の自発的学習を含む科目 を

印は実技を主とする科目 」

「 印は授業時間外の学習を必修とする科目 に改める。

印は授業時間外の自発的学習を含む科目

印は実技を主とする科目 」

別表第2（第13条関係）専門科目学年別授業科目表の機械工学科教育課程表の表中

「 |

流 体 工 学	2				2	
---------	---	--	--	--	---	--

 | 」 を

「 |

流 体 工 学	4				4	
---------	---	--	--	--	---	--

 | 」 に、

「 |

開設単位数計	97	6	9	18	31	33	
履修単位数計	89	6	9	18	27	29	

 | 」 を

「 |

開設単位数計	99	6	9	18	33	33	
履修単位数計	91	6	9	18	29	29	

 | 」 に、

「 印は授業時間外の自発的学習を含む科目 を

印は実技を主とする科目 」

「 印は授業時間外の学習を必修とする科目 に改める。

印は授業時間外の自発的学習を含む科目

印は実技を主とする科目 」

別表第2（第13条関係）専門科目学年別授業科目表の電気電子工学科教育課程表の表中

「 |

電 子 回 路	2				2	
---------	---	--	--	--	---	--

 | 」 を

「 |

電 子 回 路	4				4	
---------	---	--	--	--	---	--

 | 」 に、

「 |

開設単位数計	101	6	9	18	34	32	
履修単位数計	89	6	9	18	27	29	

 | 」 を

「 |

開設単位数計	103	6	9	18	36	32	
履修単位数計	91	6	9	18	29	29	

 | 」 に、

「 印は授業時間外の自発的学習を含む科目

を

印は実技を主とする科目

* デジタル技術 のみを取得した場合は , 及び の単位を認定する。」

「 印は授業時間外の学習を必修とする科目 に改める。

印は授業時間外の自発的学習を含む科目

印は実技を主とする科目

* デジタル技術 のみを取得した場合は , 及び の単位を認定する。」

別表第 2 (第 1 3 条関係) 専門科目学年別授業科目表の電子制御工学科教育課程表の表中

	制御工学	2				2		を
--	------	---	--	--	--	---	--	---

	制御工学	4				4		に ,
--	------	---	--	--	--	---	--	-----

	開設単位数計	99	6	9	18	33	33	を
	履修単位数計	89	6	9	18	27	29	」

	開設単位数計	101	6	9	18	35	33	に ,
	履修単位数計	91	6	9	18	29	29	」

「 印は授業時間外の自発的学習を含む科目 を

印は実技を主とする科目

* デジタル技術 のみを取得した場合は , 及び の単位を認定する。」

「 印は授業時間外の学習を必修とする科目 に改める。

印は授業時間外の自発的学習を含む科目

印は実技を主とする科目

* デジタル技術 のみを取得した場合は , 及び の単位を認定する。」

別表第 2 (第 1 3 条関係) 専門科目学年別授業科目表の情報工学科教育課程表の表中

	情報ネットワーク	2				2		を
--	----------	---	--	--	--	---	--	---

	情報ネットワーク	4				4		に ,
--	----------	---	--	--	--	---	--	-----

	開設単位数計	99	7	9	18	30	35	を
	履修単位数計	89	7	9	18	26	29	」

	開設単位数計	101	7	9	18	32	35	に ,
	履修単位数計	91	7	9	18	28	29	」

- 「 印は授業時間外の自発的学習を含む科目 を
 印は実技を主とする科目
 * デジタル技術 のみを取得した場合は , 及び の単位を認定する。 」
 「 印は授業時間外の学習を必修とする科目 に改める。
 印は授業時間外の自発的学習を含む科目
 印は実技を主とする科目
 * デジタル技術 のみを取得した場合は , 及び の単位を認定する。 」

別表第 3 (第 3 4 条関係) 専攻科共通学年別授業科目表の表中

	生産管理工学	2		2	
	専門共通科目開設単位数計	23		23	
	専門共通科目修得単位数計	16 単 位 以 上 修 得			
	専攻科共通科目開設単位数計	35		35	
	専攻科共通科目修得単位数計	22 単 位 以 上 修 得			

	生産管理工学	2		2	
	長期インターンシップ	2	2		
	専門共通科目開設単位数計	25		25	
	専門共通科目修得単位数計	16 単 位 以 上 修 得			
	専攻科共通科目開設単位数計	37		37	
	専攻科共通科目修得単位数計	22 単 位 以 上 修 得			

に改める。

附 則

この学則は、平成 1 8 年 4 月 1 日から施行する。

津山工業高等専門学校規程第 9 号

津山工業高等専門学校全学共同利用スペースに関する規程の一部を改正する規程を次のように定める。

平成 1 7 年 9 月 2 7 日

津山工業高等専門学校長 阿部 武治

津山工業高等専門学校全学共同利用スペースに関する規程の一部を改正する規程

津山工業高等専門学校全学共同利用スペースに関する規程 (平成 1 4 年規程第 4 号) の一部を次のように改正する。

第 2 条中「なお、既存の施設のうち、全学共同利用スペースに含まれるものの名称及び設置場所は、別表のとおりとする。」を削る。

第 3 条に次の 1 項を加える。

3 前 2 項の規定にかかわらず、別表に掲げる既存施設については、全学共同利用スペースとして運用するものとする。

第 6 条中「 (別紙様式 1) 」を「 (別紙様式) 」に改める。

第11条中「国有財産補助監守者」を「不動産補助監守者」に改める。

別表中

機械電気電子工学科棟	選 択 教 室 (1) 選 択 教 室 (2)	を
------------	--------------------------------	---

機械電気電子工学科棟	選 択 教 室 (1) 選 択 教 室 (2)	に改める。
電子制御・情報工学科棟	電子物性実験室	

別紙様式1を別紙様式とする。

附 則

この規程は、平成17年9月27日から施行し、平成17年4月1日から適用する。

津山工業高等専門学校規則第4号

津山工業高等専門学校入学者選抜実施細則の一部を改正する細則を次のように定める。

平成17年11月29日

津山工業高等専門学校長 阿部 武治

津山工業高等専門学校入学者選抜実施細則の一部を改正する細則

津山工業高等専門学校入学者選抜実施細則（昭和48年規則第2号）の一部を次のように改正する。

第2条中「，健康診断」を削り，同条に次の1項を加える。

2 入学者の選抜に当たり必要と認める受験者については，その健康状態を適宜の方法により確認することができる。

第7条中第2号を削り，第3号を第2号とし，第4号から第6号までを1号ずつ繰り上げる。

附 則

この細則は、平成18年4月1日から施行する。

人事異動

個人情報を含むため公開せず。

主要日誌

- 8月1日～5日 公開講座（子供将棋教室）
- 2日 第2回FD研修会
 - 3日～14日 第40回全国高専体育大会
 - 4日 閉寮
 - 17日 開寮
 - 22日 教育プログラム点検委員会，全国高専将棋大会
 - 23日 教務（入試実施）委員会
 - 26日～27日 オープンキャンパス（寮内見学）
 - 29日 安全衛生委員会，入学試験委員会，専攻科運営委員会，寮務委員会
 - 30日 運営委員会，自己評価委員会，火災報知器と防火戸の対応説明会
 - 31日 開寮
- 9月2日 臨時寮務委員会
- 3日～4日 留学生実地見学旅行（愛知万博・伊勢神宮）
 - 4日 地域共同テクノセンター運営委員会
 - 6日 教員会議
 - 7日 臨時寮務委員会
 - 8日 地域共同テクノセンター運営委員会
 - 9日 図書館運営委員会（メール会議）
 - 9日～11月25日 中国語会話初級続編

- 12日 教育プログラム点検委員会
- 13日 交通安全講習会
- 16日 知的財産委員会
- 20日 教務（入試実施）委員会，第7回学生生活委員会
- 22日 研究紀要編集委員会，総合情報センター運営委員会（メール会議），寮務委員会
- 26日 専攻科運営委員会，教育プログラム点検委員会
- 27日 運営委員会
- 29日 安全衛生委員会，進路支援委員会
- 30日 悪徳商法被害防止講座
- 10月 3日 知的財産に関する講習会（中国地区高専）
- 4日 教員会議，交通安全講習会（M - 2），寮生総会
- 9日～10日 全国高専プログラミングコンテスト
- 11日 地域共同テクノセンター運営委員会，交通安全講習会（E - 2）
- 12日 教育プログラム点検委員会
- 15日 焼肉大会
- 17日 中国地区テクノセンター長等会議
- 17日～19日 寮生バレーボール大会
- 18日 総合情報センター運営委員会（メール会議），教務（入試実施）委員会，交通安全講習会（S - 2），寮務委員会
- 19日 秋季スポーツ大会
- 20日 北辰寮防火避難訓練
- 22日～23日 アイデア対決・全国高専ロボットコンテスト2005中国地区大会（大島商船高専・柳井）
- 25日 専攻科運営委員会，第8回学生生活委員会，交通安全講習会（C - 2）
- 27日 運営委員会
- 28日 安全衛生委員会，中国地区高専体育大会（冬季大会）及び中国地区高専英語弁論大会壮行会，1年生進路説明会
- 31日 地域共同テクノセンター運営委員会，教育プログラム点検委員会
- 11月 1日 教員会議，交通安全講習会（1年生全員，S - 3）
- 4日 弥生祭準備（休講）
- 5日～6日 弥生祭
- 6日 寮生保護者連絡会・北辰寮後援会役員会
- 7日 将来構想委員会，研究紀要編集委員会，弥生祭後片付（休講）
- 8日 地域共同テクノセンター運営委員会，進学ガイダンス，留学生と語る会
- 8日～12日 交換寮生（阿南高専に派遣）
- 8日～13日 交換寮生（舞鶴高専に派遣）
- 11日～13日 第41回中国地区高専体育大会（冬季大会）（大島商船高専）
- 14日 教育プログラム点検委員会，学寮給食委員会

- 14日～20日 交換寮生（一関高専に派遣）
- 16日～23日 交換寮生（有明高専に派遣）
- 17日 総合情報センター運営委員会
- 18日 性教育講演会（1年生全員）
- 18日～19日 第21回中国地区高専英語弁論大会（米子）
- 20日～22日 J A B E E 中間審査受審（機械・制御システム工学，電子・情報システム工学の2プログラム）
- 22日 第9回学生生活委員会，寮務委員会
- 24日 永年勤続者表彰式，教務（入試実施）委員会
- 25日 図書館運営委員会
- 28日 専攻科運営委員会
- 29日 運営委員会

諸 報

教職員のレクリエーション行事について

1．平成17年度教職員のレクリエーション行事として，9月7日(水)17時30分から本校にて参加者28名によりグランドゴルフ大会が実施され，白熱した好ゲームが繰り広げられた。

8ホール合計の成績は次のとおり。

- 1位 会計課 岸 繁 樹
- 2位 庶務課 大 田 学
- 3位 庶務課 中 地 貞 夫

2．平成17年度教職員のレクリエーション行事として，9月27日(火)18時15分から市内ボウリング場で参加者39名によりボウリング大会が実施され，白熱した好ゲームが繰り広げられた。2ゲーム合計の成績は次のとおり。

- 1位 学生課 竹 本 瞭 市
- 2位 庶務課 竹 中 正 巳
- 3位 学生課 庄 司 知 広

3．平成17年度教職員のレクリエーション行事として，11月30日(水)18時15分から市内ボウリング場で参加者28名によりボウリング大会が実施され，白熱した好ゲームが繰り広げられた。2ゲーム合計の成績は次のとおり。

- 1位 庶務課 竹 中 正 巳
- 2位 会計課 不 藤 忠 義
- 3位 学生課 庄 司 知 広

永年勤続者表彰

独立行政法人国立高等専門学校機構教職員表彰規則第2条第1項第1号の規定に基づき、永年勤続者表彰式が平成17年11月24日（木）、会議室において行われ、校長から受彰者に対し表彰状及び記念品が授与された。

所 属	職 名	氏 名
機 械 工 学 科	助 教 授	佐 藤 紳 二
会 計 課	主 任	塩 根 小百合
会 計 課	主 任	不 藤 忠 義

アメリカ合衆国への海外研修

10月9日（日）～18日（火）、アメリカ合衆国ペンシルベニア・カレッジ・オブ・テクノロジー（ペンカレッジ）へ本科生2名、専攻科生3名、引率教員1名を派遣した。本事業は平成14年度から国際交流の一環として実施しているもので、学生はそれぞれ研修先で米国学生とともに講義や実習に参加し、また、ホームステイ先でアメリカの家庭生活を体験し交流を深めた。

学位取得

電気電子工学科の中村重之講師は、平成17年9月21日付けで、名古屋工業大学から博士（工学）の学位を授与された。

論文題目

「Electrodeposition of Ternary Chalcopyrite and Pyrite Semiconductors for Photovoltaic Cell Application」

知的財産に関する講習会（中国地区高専）

10月3日（月）～4日（火）の両日、会議室で、中国地区高専の知財担当の教職員20名が出席して開催された。講師として独立行政法人国立高等専門学校機構企画専門職 村田正行氏が高専機構における知的財産管理等について説明及び質疑応答が行われ、参加者は知的財産に関する理解を深めることができた。

科学研究費補助金説明会

10月11日（火）、科学研究費補助金の制度について理解を深めるために、教職員を対象とした「科学研究費補助金説明会」を開催した。当日は講師として（独）日本学術振興会研究事業部研究助成課次長の西山和彦氏を招き、科学研究費補助金の概要、公募要領、ルール、電子申請システムを利用した公募の概要、不正使用の防止等について詳細な説明と質疑応答が行われた。参加した教職員52名は、科学研究費補助金の応募及び執行に関して大いに参考になった。

受託研究

- 1 研究題目 マイクロ加工用アクチュエータの開発
研究委託者 財団法人岡山県産業振興財団

- 研究担当者 電子制御工学科 助教授 野村 健作
 研究経費 3,500,000円
 研究期間 平成17年8月9日～平成18年2月28日
- 2 研究題目 接合面・摺動面の表面制御による高性能難削材加工機械の研究開発
 研究委託者 財団法人中国技術振興センター
 研究担当者 機械工学科 教授 小西 大二郎
 研究経費 2,864,400円
 研究期間 平成17年8月31日～平成18年2月28日
- 3 研究題目 在庫管理システムのソフト作成
 研究委託者 有限会社美研
 研究担当者 情報工学科 教授 岡田 正, 情報工学科 助手 齋藤 智也
 研究経費 100,000円
 研究期間 平成17年9月12日～平成18年3月31日

共同研究

- 1 研究題目 高分子材料の平面伸張粘度測定技術の開発（特許申請のための基礎データ収集）
 共同研究員 国立大学法人長岡技術科学大学
 本校担当者 機械工学科 助手 加藤 学
 経 費 300,000円
 研究期間 平成17年7月1日～平成18年3月31日
- 2 研究題目 WEB及び携帯端末を利用した基幹業務統合管理システムの構築
 共同研究員 株式会社すえ木工
 本校担当者 情報工学科 教授 岡田 正, 大平 栄二, 講師 寺元 貴幸
 経 費 600,000円
 研究期間 平成17年8月16日～平成18年3月31日
- 3 研究題目 発光ダイオードおよび(In)GaPN層の特性評価
 共同研究員 国立大学法人豊橋技術科学大学
 研究担当者 電気電子工学科 教授 伊藤 國雄
 研究経費 350,000円
 研究期間 平成17年10月3日～平成18年3月31日

寄附金

寄 附 者 津山工業高等専門学校後援会長
 寄附の目的 教育活動助成
 寄附年月日 平成17年8月24日
 寄 附 金 額 1,810,000円

寄附者 津山ロータリークラブ
寄附の目的 津山高専国際交流助成金
寄附年月日 平成17年10月12日
寄附金額 500,000円

寄附者 ハリソン東芝ライティング株式会社
寄附の目的 植月 唯夫の研究助成
寄附年月日 平成17年10月14日
寄附金額 800,000円

寄附者 株式会社ソフィア
寄附の目的 齋藤 智也の研究助成
寄附年月日 平成17年10月19日
寄附金額 50,000円

寄附者 株式会社ソフィア
寄附の目的 寺元 貴幸の研究助成
寄附年月日 平成17年10月19日
寄附金額 50,000円

寄附者 株式会社三社電機製作所
寄附の目的 伊藤 國雄の研究助成
寄附年月日 平成17年10月26日
寄附金額 100,000円

オープンキャンパス2005

8月26日(金)・27日(土)の2日間に亘り、本校において、オープンキャンパス2005を開催した。午前中は学科紹介(2学科見学可)を、午後は、体験コーナー(各学科の特徴が盛り込まれた、実験実習を含む実体験2コーナー参加可)を主体に、1日入学を体験した。また、学寮を含む構内自由見学・相談コーナー等が企画され、2日間で中学生305人(2年生を含む)、保護者等116人・引率中学校教諭8人、計429人(参加中学校数97校)の参加があった。

学生募集(4年次編入学試験)

8月29日(月)本校において、平成18年度4年次編入学者選抜試験を実施し、選抜の結果、9月1日次のとおり合格者を発表した。

(志願合格状況は次のとおり)

志願者数 17名

(機械 = 3名, 電気電子 = 6名, 電子制御 = 5名, 情報 = 3名)

合格者数 7名

(機械 = 1名, 電気電子 = 3名, 電子制御 = 2名, 情報 = 1名)

第2回FD研修会

8月2日(火)10時から、合併教室において、本年度第2回FD研修会(テーマ=高専における研究のあり方について)を開催した。教務主事、会計課長及び地域共同テクノセンター長から、それぞれ「高専における研究の位置付けと活性化について」・「津山高専の研究費の現状について」・「地域共同テクノセンターにおける地域連携への取り組み」をテーマに講演が行われた。また、併せて活発な意見交換が行われ、教職員は津山高専における研究の現状を理解するとともに、高専における研究のあり方について研鑽を積んだ。

第3回FD研修会

9月28日(水)13時から、合併教室において、本年度第3回FD研修会(テーマ=授業の改善について)を開催した。公開授業を受けた2人の教員から授業改善に係る提案及び事例報告があり、教務委員会から毎年実施している授業評価アンケート集計結果について話題提供があり、今後の授業改善に必要な意見交換をした意義深い研修会であった。

保護者懇談会・全体説明会・学校説明会

10月29日(土)・30日(日)本校並びに岡山大学において、平成18年度保護者懇談会・全体説明会(在籍学生保護者対象)・学校説明会(中学3年生及びその保護者対象)を開催し、担任と保護者の情報交換・学校運営等津山高専の現状報告・平成18年度受験希望者への学校説明を行った。(参加状況は、次のとおり)

保護者懇談会

津山高専(10月29日)=408名、岡山大学(10月30日)=198名

全体説明会

津山高専(10月29日)=60名、岡山大学(10月30日)=109名

学校説明会

津山高専(10月29日)=63名、岡山大学(10月30日)=88名

第40回全国高等専門学校体育大会の成績について

8月3日(水)~14日(日)の間、関東信越地区において、群馬高専が担当校、その他の高専が協力校として運営に当たり、第40回全国高等専門学校体育大会が開催された。

本校からは、中国地区大会で上位の成績を修めたバドミントン、ハンドボール、バスケットボール、ソフトテニス、剣道、陸上競技、柔道及びテニスの8種目に各選手が参加して活躍した。

主な成績は次のとおり。

陸上競技

優勝 M-5 田外真也 (110mハードル)

第5位 C-4 安藤正樹 (やり投)

1・2・3年生対象の交通安全講習会

9月13日，10月4日，11日，18日，25日，11月1日の6日間，市内の自動車学校で，交通安全意識の高揚と交通事故及び違反等の防止を目的とした交通安全講習会を2・3年生を対象に各クラス単位で実施した。学生たちは，運転実技，講義などの講習を受け，交通マナーを守ることの大切さや安全運転への認識を深めていた。

また，11月1日には，本校に津山警察署から講師を招き，1年生を対象として二輪車の運転に関する講演を実施した。

悪質商法被害防止講座

9月30日（金），講師に（社）全国消費生活相談員協会の山口美恵子さんを招き，3年生を対象とした悪質商法被害防止講座を「多重債務に陥らないために - 自立した消費者になろう - 」と題し開催した。

この講座は，最近，悪徳商法による若者の被害が増加していることから専門の講師による講演を通じて，契約の知識や，消費生活相談事例を学ぶことにより，自立した消費者を目指すことを目的として毎年開催しているもの。

参加した学生は，根拠のない請求の対処方法・契約の成立と解約・クレジットの仕組み等身近な事例を題材にした講話ということもあり，熱心に聴講していた。

全国高等専門学校第16回プログラミングコンテスト

10月9日（日），10日（月）の両日，米子市米子コンベンションセンターで全国高等専門学校第16回プログラミングコンテストが開催され，本校からは自由部門に“Antwave - 超次元コラボレーションブラウザ - ”，競技部門に“ハート・サークル”の2作品が参加し，“Antwave - 超次元コラボレーションブラウザ - ”が最優秀賞（文部科学大臣賞）を受賞した。なお，この受賞は2年連続である。

アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2005中国地区大会

10月23日（日）大島商船高専主幹により柳井市体育館でアイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2005中国地区大会が開催され，本校からは，電子制御工学科から“LANDOLT”と情報総合研究部から“単構造”が出場した。中国地区8校から16チームが出場しトーナメント形式で戦い，“単構造”は2回戦敗退，“LANDOLT”は準決勝敗退となったが，推薦により“単構造”が来る12月4日に両国・国技館で開催される全国大会に出場することとなった。

第41回中国地区高等専門学校体育大会（冬季大会・ラグビー）

11月11日（金）～13日（日）に大島商船高専グラウンドを会場として第41回中国地区高等専門学校体育大会（冬季大会）が開催され，全国大会出場権を賭けた熱戦が展開された。

本校は，12日（土）に一回戦で地元大島商船高専と対戦し，24 - 17で勝ち上がったものの，13日（日）にパート決勝で米子高専と対戦し，0 - 32で敗退した。

性教育（エイズ）講演会

11月18日（金），講師に財団法人共愛会芳野病院長の藤本宗平氏を講師に招き，1年生を対象とした性教育講演会を開催した。

講演は，要点をとりまとめた資料等をパワーポイントを使ってわかりやすく説明する形式で行われ，学生たちは日常の授業等で得ることの出来ない情報に興味を示しながらエイズへの認識を一層深めていた。

第21回中国地区高等専門学校英語弁論大会

11月18日（金），19日（土）に米子高専を当番校として開催された第21回中国地区高等専門学校英語弁論大会に，本校から次の2名の学生が参加し，上位の成績を修めた。

暗唱部門	S - 3	谷口 孝仁	優勝
同	S - 1	飯田有佳子	7位

留学生実地見学旅行

9月3日から4日の2日間にわたり借り上げバスにより本校留学生，チューター，教職員の総勢30人で，留学生が世界の最先端科学技術および日本の伝統文化に触れることにより科学技術や日本に対する知識をより深めることを目的として，愛知万博および伊勢神宮を見学旅行した。例年は日帰りであったが，今回は特別企画として1泊2日で実施したため，当初の目的以外にも留学生，チューター及び引率教職員との親睦がより深められた。

寮生焼肉大会

10月15日（土）地元町内会の代表者との懇談会を開き意見交換をした。その後寮庭で学生たちと焼肉パーティーを楽しみながら交流した。

北辰寮防火避難訓練

10月20日（木），寮生全員，新任教員を対象とした，全寮オートロック化に伴う火災時の避難経路と避難方法，人員の確認，人命損傷の防止等現実に即した訓練を実施した。

寮生保護者懇談会及び北辰寮後援会役員会

11月6日（日），弥生祭の日に，1年生の保護者，北辰寮後援会会長及び寮務関係教職員が参加して保護者懇談会を実施した。

寮務主事から寮の現状と課題を報告の後，寮生全般に係る意見や要望について，学科別懇談会を行い，1年生の後援会役員を選出した。また，午後から新役員を含めて，北辰寮後援会役員会を開催した。

留学生と寮生の語る会

11月8日（火），寮食堂に1年生及び寮生会幹部並びに寮務関係教職員の約100名が参加して「留学生と語る会」を開催し，マレーシア・ベトナム・インドネシア・バング

ラディッシュ・ラオス及びモンゴルの伝統・文化等の紹介及びマレーシア民族衣装の披露などで交流を深めた。

交換寮生（一関・舞鶴・阿南及び有明高専）

11月14日～20日一関高専に1名，11月8日～12日阿南高専に1名，10月8日～13日舞鶴高専に2名，11月16日～23日有明高専に1名の寮生が各高専の学生寮での生活を体験した。また阿南高専・一関高専からは各1名・舞鶴高専からは2名の寮生が本校での寮生活や授業を体験した。交換計画は，寮生の視野を広げることによる種々の不条理の解消等，より良い寮制度の構築及び各高専寮のアイデンティティの確立を進めるために実施した。